



技工用オイルレスエアタービンハンドピース

PRESTO II

プレスト II

取扱説明書

届出番号 09B2X00016000009号



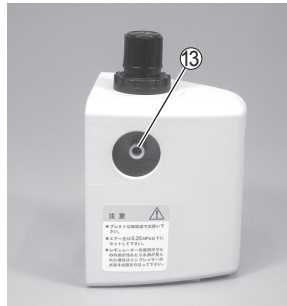
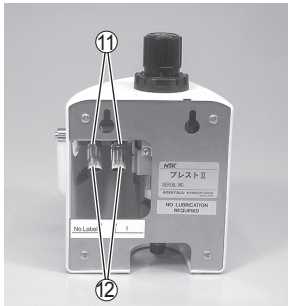
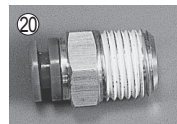
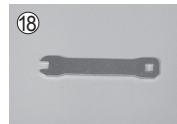
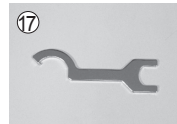
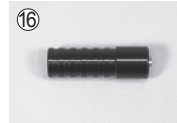
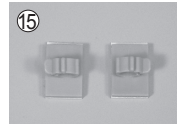
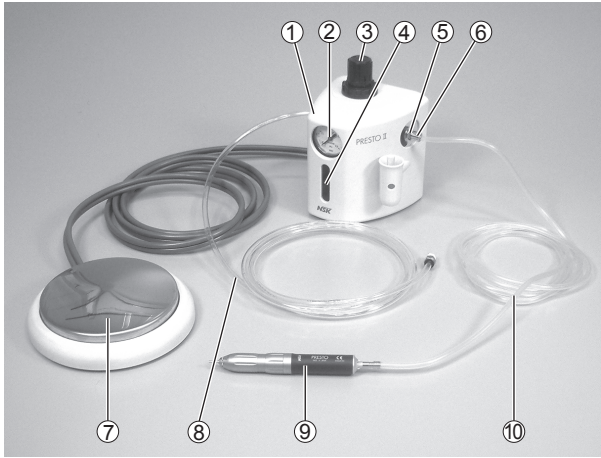
OM-T0282 001

このたびは、PRESTO II（プレスト II）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に使用上の注意、取扱方法、また保守点検等につきましてこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法により末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。またこの取扱説明書は、ご使用になる方がいつでも見ることのできる場所へ保管してください。

注 意

- ・プレスト II は陶歯、ポーセレン、セラミック等の精密技工を行うための歯科技工用ハンドピースです。他の目的には使用しないでください。
- ・切削時は安全のため防護メガネ、研磨ボックス、バキューム等を使用してください。
- ・改造またはむやみに分解することはしないでください。性能や安全面で重大な影響を及ぼすことがあります。故障・修理の際は、お買い求めの販売店へ修理依頼してください。
- ・ハンドピースやユニットは落下させないでください。ユニットは必ず平らで安定した場所に置いてください。
- ・バーの製造販売業者が指定する許容回転数を守ってください。バーの飛散や折損によってけがをする危険があります。
- ・振れ、曲がり、傷、シャンク部に摩耗の見られるバーは使用しないでください。バーの飛散や折損によってけがをする危険があります。
- ・ハンドピースが回転中は、チャック開きリングを回さないでください。ハンドピースが破損します。
- ・ハンドピースへは絶対に注油しないでください。ベアリングはグリース封入式を使用していますので、注油されますと故障の原因になります。
- ・ガタ、振動、音、温度（発熱）に十分注意して、使用開始前に予め回転させ点検をおこなってください。その時少しでも異常を感じたらすぐに販売店へ修理依頼をしてください。
- ・空気圧は0.2-0.25MPaが適正です。これ以上の圧力になると回転数が上がり過ぎ、軸受けの早期摩耗が生じます。
- ・ユニットのフィルターに水滴や汚れが見られたら水抜きを行ってください。
- ・装着しようとするバーのシャンクはいつもきれいにしてください。ゴミがチャック内に溜まるとバーが振れたりチャック破損の原因になります。
- ・使用しないときも、切削バーまたはテストバーを装着しておいてください。
- ・操作・保守点検の管理責任は使用者側にあります。

1. 各部の名称



- ①プレスト II エアーラインユニット
- ②圧カゲージ
- ③レギュレーターつまみ
- ④フィルター点検窓
- ⑤ハンドピースコネクター
- ⑥チューブストッパー
- ⑦フットペダル
- ⑧配管ホース
- ⑨プレストハンドピース
- ⑩ハンドピースチューブ
- ⑪フットペダルコネクター
- ⑫ホースストッパー

- ⑬配管コネクター
- ⑭ユニット固定ねじ
- ⑮ハンドピースチューブクランプ
- ⑯バー差込レンチ
- ⑰カートリッジ用スパナ
- ⑱ローター軸ナット用レンチ
- ⑲ハンドピーススタンド
- ⑳接続用コネクター
- ㉑カートリッジ
- ㉒スパナ掛け部
- ㉓チャック開きリング

2. 仕様

回転数	320,000–390,000min ⁻¹
適正給気圧	0.2–0.25MPa
ハンドピース寸法	φ16.6(D)X130(H)mm
ハンドピース重量	71g
ユニット寸法	W120XD102XH165(mm)
ユニット重量	720g

3. 各部の取り付け方法

(1) ユニットの設置

ユニットは壁掛け、床置き等さまざまな取り付けができます。

壁面等に取り付けるときは、ユニット背面のねじ穴2ヶ所に、ユニット固定ねじ⑭で固定してください。

(2) 配管ホースの取り付け

ユニット左側のレギュレーターにある配管コネクター⑬へ配管ホース⑧をしっかりと止まるところまで押し込み、図1のように接続してください。接続後ホースを引いて確実に取り付けられているか確認してください。

配管ホース⑧のもう一方をエアラインに接続してください。このとき必要に応じて付属の接続用コネクター⑳を使用してください。

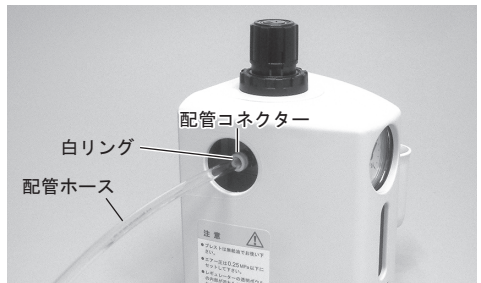


図 1

⚠ 注意

- ・配管ホース⑧を配管コネクター⑬に押し込むときは、しっかりと止まるところまで押し込んでください。エア漏れの恐れがあります。
- ・配管コネクター⑬から配管ホース⑧を取り外すときは、白リングを押しながらホースを引き抜いてください。

(3) フットペダルの取り付け

ユニット背面のフットペダルコネクター⑪に付いてるホースストッパー⑫(2個)を緩めて外し、フットペダル⑦のホースに差し込みます。このときホースストッパー⑫は外側(ユニット側)がねじになるように差し込んでください(図2)。

壁掛けでご使用の場合はホースは図2の穴に通してください。

ホースの端に「1」の表示がされたシールが付いてる方をラベルの指示に従って差し込んでください。両方のホースを差し込んだ後、ホースストッパー⑫をしっかりと締め込みます。

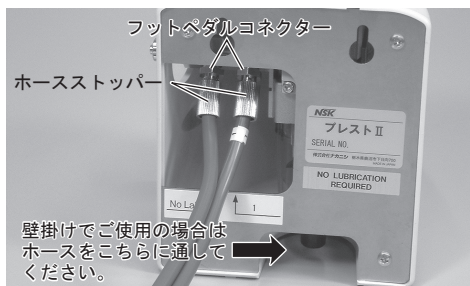


図2

(4) ハンドピースの取り付け

ユニット右側のハンドピースコネクター⑤に付いてるチューブストッパー⑥を緩めて外し、ハンドピースチューブ⑩に差し込みます。このときチューブストッパー⑥は外側(ユニット側)がねじになるように差し込んでください(図3)。

ハンドピースチューブ⑩をハンドピースコネクター⑤に差し込み、チューブストッパー⑥をしっかりと締め込みます。

ハンドピースチューブ⑩のもう一方にチューブ抑えリングを図4のように差し込み、ハンドピースチューブソケットへ図5のように差し込みます。

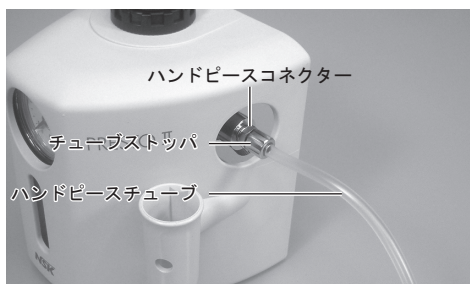


図3

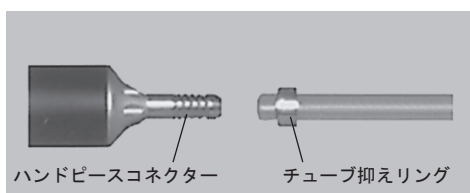


図4

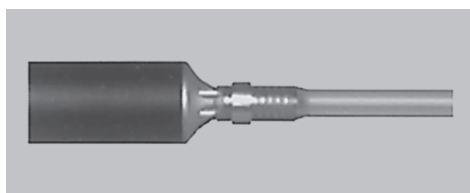


図5

(5) ハンドピースチューブクランプの取り付け

ハンドピースチューブクランプ⑮が2個添付されていますので、使い方によってハンドピースチューブを固定したいときなどにご使用ください。

4. ユニットの操作手順

(1) 給気圧の設定

エアの元栓を開け、レギュレーターつまみ③を上方に引き上げ時計方向に回転させ、圧力ゲージを0.25MPaに合わせます。合ったところでつまみを下げてロックします。
(図6)

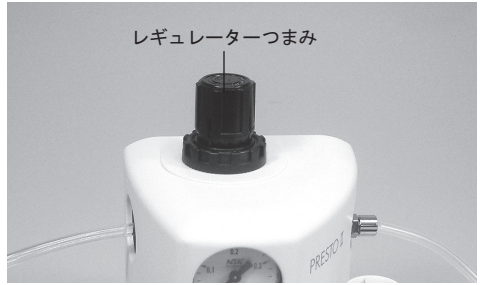


図6

(2) 作動

フットペダル⑦を踏むと回転を開始します。

(3) 作業が終わったら

エアの元栓を閉めてください。

5. ハンドピースの操作手順

- (1) プレストハンドピースのチャックは押し込み式ですので、図7のようにφ1.6mmFGバーをセットして押し込んでください。先端の細いバーは付属の専用のバー差込レンチ⑬を用いて図8のように押し込んでください。
- (2) バーを取り外す場合は、チャック開きリング⑭を図9の矢印の方向に回せば取り外すことができます。

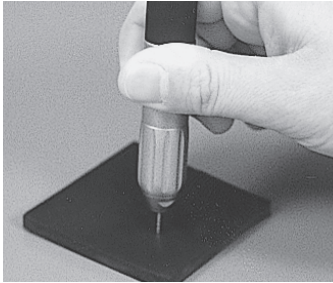


図7

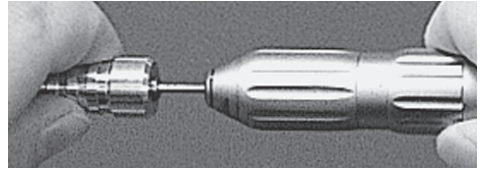


図8



図9

6. カートリッジの交換方法

- (1) カートリッジ⑳のスパナ掛け部㉑にカートリッジ用スパナ⑰を掛け、図10の矢印の方向に回して取り外します。
- (2) 新しいカートリッジを装着する際は内部をきれいにしてから装着してください。
- (3) 最後に取り外しの時とは逆方向にカートリッジを回してしっかりと締めてください。

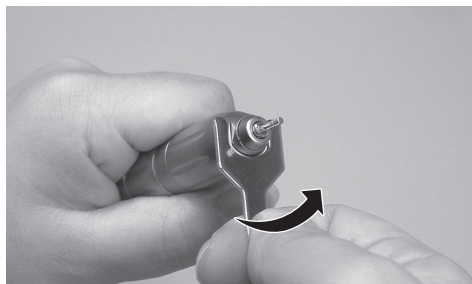


図10

7. チャックの交換または掃除方法

(1) チャックの取り外し

- 1) チャックへテストバーまたはバーを装着してからカートリッジ⑳を取り外します。(6. カートリッジの交換方法を参照)
- 2) ローターを押さえ、ローター軸先端にあるローター軸ナットへローター軸ナット用レンチ⑱を掛け、図11の矢印の方向へ回します。レンチは四角の穴、コの字形どちらでも使用できます。
- 3) ローター軸ナットを取り外したら、後部よりテストバーまたはバーのシャンク部によりチャックを慎重に押し出してください。ガイドブッシュそしてチャックが取り外せます。(図12)

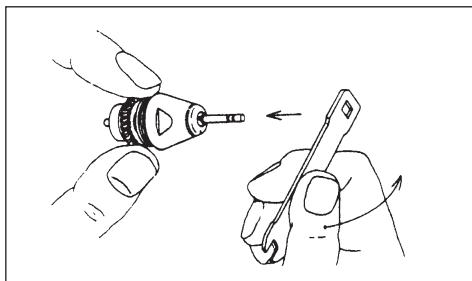


図11

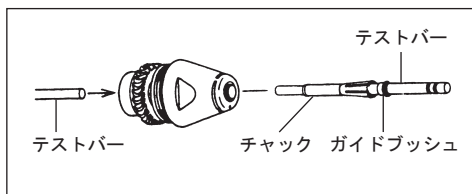


図12

⚠ 注意

ガイドブッシュは非常に小さい部品です。紛失しないように注意してください。

- ・チャック清掃の際はチャックを超音波洗浄器等でよく洗浄します。ローター軸内部もオイルスプレー等を吹き付け、きれいに掃除してください。

⚠ お知らせ

チャックは週に1度は取り外して掃除してください。

(2) チャックの取り付け

- 1) 新しいチャックまたは掃除後のチャックは表面に薄く油を塗り、テストバーを入れ、ローター軸へ押し込みます。(図13)

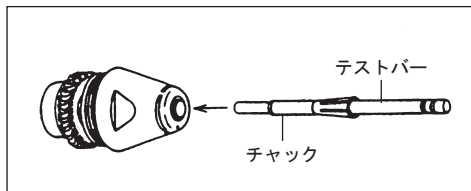


図13

- 2) テストバーに添って、ガイドブッシュのガイド部の長い方を先にローター軸先端へセットします。(図14)

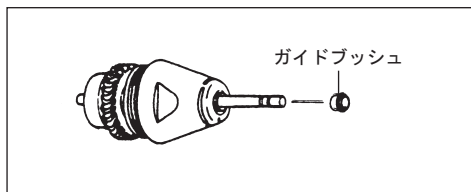


図14

- 3) 最後にローター軸ナットをテストバーに添って差し込み、ローターをしっかり押さえ、付属のローター軸ナット用レンチ⑱でしっかりと締め込んでください。(図15)

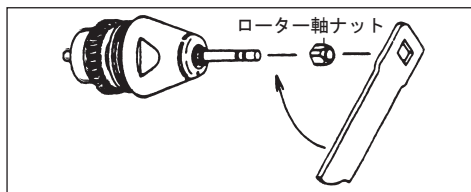


図15

8. ユニットの保守

(1) フィルター内の水抜き方法

フィルター点検窓④よりフィルターボールを見て、水が溜まっていたら、底から指を差し入れてドレンを矢印の方向（反時計方向）へ回してフィルター内の水を抜いてください(図16)。水を抜いたらドレンを逆方向に回してしっかりと締めてください。

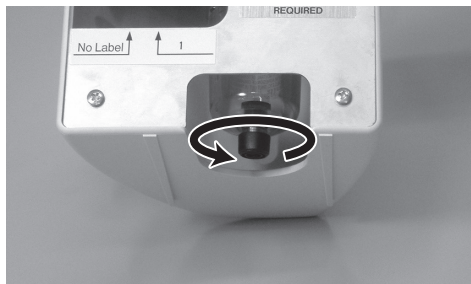


図16

株式会社 **ナカニシ** www.nsk-nakanishi.co.jp

〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700
TEL: 0289(64)3380 FAX: 0289(62)5636

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0120-7242-56
9:00～17:00 / 土日・祝祭日を除く
E-mail: cs@nsk-nakanishi.co.jp

QRコードから
ウェブサイトへ
アクセス



2017.00.00 00 ㊞